

支部協だより ちゃーしがんじゅう

第238号

新年のあいさつ

結成40年の節目に



退職者の会 沖縄県支部協議会
会長 金城 章

会員の皆様、
新年明けまして
おめでとうございます。

昨年度は、沖縄県議会議員選挙・衆議院議員選挙・退職者説明会や独自の平和行動・グラウンドゴルフ大会などの取り組みを行いました。

今年、退職者の会は結成40周年を迎えます。記念誌の発行や記念レセプションを予定しております。

戦後80年を迎えます。平和への取り組みについては、米軍基地問題、辺野古の海の埋め立て、南西諸島のミサイル基地の増強など益々厳しくなっています。私たちは引き続き諦めることなく取り組んでいきます。

第27回参議院議員選挙が7月に行われます。NTT労組退職者の会では「吉川さおり」

私たちの1票で 未来を拓こう



NTT労組沖縄県グループ連絡会
会長 比嘉 敏勝

の四選に向けた取り組みを既に開始しております。会員皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

昨年、元旦に発生した能登半島地震や8月の宮崎県日向灘を震源とする震度6弱の地震、それに伴う「南海トラフ地震臨時情報」の発表、また、台風や記録的豪雨・線状降水帯などで、日本各地で大きな被害をもたらしました。県内においても、11月に本島北部(国頭村・大宜味村・東村・名護市)で線状降水帯が発生し、河川の氾濫などによる床上・床下浸水が広がり、各地で土砂崩れが起き、甚大な被害を受けました。1日も早い復旧・復興を願うとともに、自然災害への備えの重要性を改めて認識させられた1年でありました。

国政に目を向けると、第50回衆院選において、自公政権が過半数割れとなり国会運営において野党の協力なしでは法案が通らない状況になり、今後の国会論戦において、与野党の政策論議の深化や政治不信の払拭など、白熱した論議を期待したい。

野党第一党の立憲民主党は政権を任せられる政党なのか、真価が問われる正念場であり、国民目線に立った国民のための政治を政策本位で国会の場で対峙



新年明けまして
おめでとうございます。



北部地区協議会
会長 神山 正樹

昨年は、県議会議員選挙で名護市区から山里将雄氏、国頭郡区から宜保唯氏が当選し、衆議院議員選挙では第三選挙区において屋良朝博氏が小選挙区で僅差で敗れたものの比例復活当選。北部地区協議会の会員の皆様の協力の賜物だと心から感謝しております。

残念なことは、3名の会員が体調を崩し亡くなられた事やグラウンドゴルフ大会や定期総会及び懇親会の参加者が年々減少傾向にあることが一抹の寂しさを感じるところであります。残念な事ばかりでなく、会員の平良正夫氏がカジマヤーを迎え、現在でも趣味のアマチュア無線、ネットでの将棋対局等、その元気さには驚くものがありました。

会員の皆様には、趣味を活かし、交流を深めていただきたく思うとともに、今年も県支部協議会及び労組沖縄県グループ連絡会のご指導・ご協力の下、会員の皆様のご協力をいただきながら、会員相互の親睦と交流を深めていきたいと思っております。

災害で明けた2024年、解散・総選挙、終わりの見えない紛争・中東情勢と波乱の一年でした。少数与党に転じた自公政権下で民主的な政治運営がなされそうな兆しも見える？ 2025年は平和で明るい話題に満ちた年になって欲しいと願います。



八重山地区協議会
会長 白道 直行

しかし、残念ながら南西諸島の一角、ここ八重山で今のままで

は明るい兆しは無さそうです。南西諸島の軍事要塞化を目論む日米両政府と「防衛問題は国の専管事項」と、逃げる自治体首長達。誰のための自治体？ 何のための自治権？

台湾有事を無くす努力を一切せず、戦前を彷彿させる避難訓練。武力で平和は訪れない。しかし「ペン」は剣よりも強し。で、来る夏の参議院選挙、を「吉川さおり」をはじめとする平和勢力が勝利すれば、社会は変わる。

『投票所の鉛筆一本で』社会を世界を変えよう。



宮古地区協議会



会長 松原 徹夫

新体制スタート

楽しみつつコミュニケーション作りと健康作りを目標に

あけましておめでとーう
ごぞいませ。

会員の皆様には、良き新春を迎えられたことと心より喜びを申し上げます。

2025年は支部協議会の取り組みとして1月に宮古交流会が1泊2日の予定で開催されます。地区協会の皆様さんとのグラウンドゴルフ大会や懇親会、宮古島内観光等予定しており、大いに楽しみ懇親を深めたいと思います。

地区協としても多くの会員の参加を呼びかけ交流を深めたいと思います。

宮古地区協の今年の目標として、会則の作成や女性会員が参加しやすいイベントや、会員同士のコミュニケーション作りを目指し、皆さんと共に頑張つて参ります。今年もどうぞ宜しくお願い致します。



北谷町議 友利 勉

沖縄を二度と戦場にしない運動を!

あけましておめでとーう
ごぞいませ。

昨年、10月に行われた突然の解散総選挙では与野党逆転となりましたが野党結集が出来るはず金権腐敗体質にまみれ大企業優遇の自公政権の継続となっている。国民が主役の政治を取り戻すために今年、7月に行われる参議院選挙で

は立憲民主党の更なる躍進で名実ともに政権交代を成し遂げる必要があります。そのためにも吉川さおり(NTT労働組合内候補)の四選を勝ち取らなければならない。

12月10日に日本水爆被害者団体協議会(被団協)にノーベル平和賞が授与される嬉しいニュースがあったが唯一の被爆国である日本政府は核兵器禁止条約を批准していない。ロシアによるウクライナへの核攻撃をちらつかせる発言やイスラエルのガザ地区攻撃、シリアへの進軍、韓国や欧州各国の政情不安と米国の第一主義

を唱えるトランプ政権の発足で世界情勢が混沌としており我が国への影響も懸念される。昨年の米軍と自衛隊の合同軍事演習は近隣諸国に軍事的緊張を高める行為である。私たちは、子どもや孫たちの未来のために平和の沖縄、沖縄を二度と戦場にさせない運動を粘り強く展開しましょう。今年も皆様、ご家族のご健勝とご多幸をお祈りいたします。

新年のご挨拶



2025年、新たな年を迎えました。2006年にNTTを退職し、翌年7月の参院選で先輩の皆様をはじめ全国各地の仲間の皆様に参議院に送り出していただいた以降、本当に温かいご支援をいただき、誠にありがとうございます。

昨年は10月初旬まで参議院の運営を担う議院運営委員会筆頭理事も務めており、思うように全国各地にお伺いすることが出来ませんでした。その任を石橋議員に引き継ぎ、いまは国会日程の合間を縫って、全国各地で多くの先輩とお会いする機会に恵まれています。

これから始まる通常国会は、今夏の参院選直前の国会となります。これまでお知らせしてきましたNTT法の改正については、私がずっと所属する総務委員会で審議されることとなります。ユニバーサルサービスの在り方等に関する改正内容が予定されており、NTTグループにとって大きな改正となりますので、与野党双方での筆頭理事の経験も活かして対応してまいります。そして年金制度を巡る法案審議も予定されています。社会保障と税の一体改革議論に中心的に携わってきた経験を踏まえ、持続可能な社会保障制度のあり方についてももしっかり議論してまいります。

衆議院では与野党仲の議会構成が実現し、政治に緊張感が生まれることとなりました。次は参議院で与野党仲の議会構成に近づけることが、政治に緊張感とバランスをもたらす、関連な議論が国会の場でできることにつながります。

現役組織の状況は非常に厳しく、先輩方のお力なくしては届かない状況ですが、平和で安心して年を重ねていくことのできる社会を、分断を生まない包摂の社会を、公正な社会をつくるべく、精一杯力を尽くしてまいります。

私、吉川さおりは政策の3本柱である社会保障「いきる」、消防防災「まもる」、情報通信「つなぐ」を軸に、初心と感謝の気持ち忘れず、精一杯頑張りますので、今後ともよろしくお願い致します。

2025年1月吉日
参議院議員 吉川沙織



参議院議員 吉川さおり
〒100-8962 東京都千代田区永田町2-1-1 参議院議員会館617号室
tel:03-6550-0617/fax:03-6551-0617 http://yoshikawasaoiri.com/



謹賀新年

NTT労働組合退職者の会沖縄県支部協議会の皆様、新年あけましておめでとうございます。

皆様には日頃から大きなご支援を賜り、私の政治活動を支えていただきましたこと、そして、先の総選挙におきまして念願の小選挙区での勝利を賜りまして誠にありがとうございました、心から感謝申し上げます。

115、142票という非常に多くの方から支持をいただいたその重さを受け止め、国民のため、有権者・地域のために、しっかりと働いて参ります。

今度も、ご指導ご鞭撻をいただきますようお願い申し上げます。

衆議院議員3期目を迎え、国会では衆議院総務委員会理事、予算委員会理事、裁判官訴訟委員会委員、党では「次の内閣」復興・福島再生大臣、国会対策委員会副委員長、ジェンダー平等推進本部事務局長など、運営に関わる役割を多く務めることとなりました。

総務委員会は通信事業を所管する委員会です。その理事として、通信事業の適正な監督と管轄を通じて情報社会の発展に貢献することを目指します。また、デジタル時代における公平かつ透明な通信インフラの整備に努め、安心して利用できる環境の構築に力を尽くします。

そして、国会が取り扱わなければならない山積していますが、選挙で訴えたように、能登半島復興支援、物産高対策、可燃物増産の増加策など暮らしや職場や地域を支える予算・施策の実現へ取り組みます。

『人へ未来へまっとうな政治へ』
総選挙の民意の結果、衆議院は与野党仲となりました。強行採決や繰り直し答弁でお茶を濁す。議論を尽くす熟議の国会へと変えていく歩みを一歩ずつ進めます。私も具体的な政策提案と税金等のムダづかい見直しを含めた行政監視の両立に力を尽くします。

皆様とともに、これからも働く者・生活者・納税者の立場で、多様性のある、人にやさしい社会を目指して参ります。

NTT労働組合退職者の会沖縄県支部協議会のご発展と、皆様の今年一年のご多幸を祈念申し上げます。



参議院議員 西村 友子

NTT労働組合退職者の会沖縄県支部協議会の諸先輩の皆様、新年あけましておめでとうございます。

昨年十月に実施されました総選挙におきまして、多くの皆さまからご支援をいただき、八回目の当選を果たすことができました。まことに有難うございました。

その結果、自公政権が過半数割れし、与野党の議席数が衆議院で逆転した新しい国会が始まりました。主権者である国民に、透明性の高い政策決定のプロセスをお見せしていくことで、政治の信頼回復につなげていかなければなりません。我々立憲民主党も野党第一党として重い責任を負うことになりました。今まで以上に気を引き締めて、生活者の立場から国民生活の安心のために懸命に取り組んでまいり所存です。

また、一月に召集される通常国会に、NTT法改正案の提出が見込まれています。ユニバーサルサービスや公正競争、経済安全保障の論点が政府の審議会で示されていますが、GAFや中国、インドといった国際市場にも目を向けた骨太の議論が必要です。さらなる情報通信産業の発展のために、政治の立場から努力して参ります。

本年が皆さまにとって良い年となりますよう、心よりお祈り申し上げます。

衆議院議員 2025年1月吉日
田嶋 要

立憲民主党 参議院議員 (NTT労働組合内)
石橋 みちひろ



NTT労働組合退職者の会・沖縄県支部協議の皆様、新年あけましておめでとうございます。旧年中も引き続き、私の政治活動に対し、大きなご支援・ご声援を賜り、誠にありがとうございました。

おかげさまで、私の国会活動も15年目に突入し、昨年から、引き続き、参議院立憲民主党の国会対策委員長筆頭代理を務めるとともに、参議院議院運営委員会の野党筆頭理事にも就任し、国会運営全般に責任を持つ立場となつて、日々、精進を続けております。

ご存知の通り、昨年10月の解散・総選挙の結果、私たち立憲民主党は50議席増の148議席を獲得し、自民党・公明党の与党を過半数割れに追い込みました。しかしこれは、自公政権の度重なる失政・失態に対する国民の怒りが爆発した結果の勝利であつて、必ずしも立憲に対する期待が高まったからではなかったことを、謙虚に受け止めなければなりません。

一方で、この12年間、自民党の一強政治が続き、とんでもない法改正や制度改訂が数々の力で強行的に押し進められてきたことを考えれば、今回の結果は「まっとうな政治」を取り戻すための大きな前進であつたことは間違いありません。より緊張感のある国会の中で、「人を大事にする政治」の実現に全力を挙げ、来年の参議院選挙での勝利と、その先の政権交代につなげていけるよう、努力していかねばなりません。大事なことはむしろこれからです。

1月から始まる通常国会では、年金制度改革の法案審議も予定されており、医療・介護サービスについても重要な制度改革議論が待ち受けています。私も引き続き、退職者の会先輩方のご期待にお応え出来るよう、しっかりと頑張つて行きますので、今後ともご支援ご指導をどうか宜しくお願い致します!

2025年1月吉日
参議院議員 石橋みちひろ

2024年活動方針の具体化 「吉川さおり」の四選に向け支持・支援の輪の拡大

第1回拡大支部協議会 代表者会議に参加して

11月27日～28日に第1回拡大支部協議会代表者会議が東京にて開催されました

始めに川辺会長より、各支部協議会総会も終了し、新年度がスタート出来たこと、10月に行われた衆議院議員選挙で自・公政権を過半数割れに追い込むことが出来た事への評価はあるが、立憲民衆党は0.6%と微増にとどまりました。

また、組織内候補の「たじまよ」「岡本あき子」当選を勝ち得た事へのお礼と、来年の参議院選挙候補者の「吉川さおり」当選に向けての協力依頼の挨拶がありました。



続いて高見副会長より

2024年度の活動方針案について提案がなされ、①会員拡大に向け拡大奨励 ②緊急連絡先登録を来年3月まで延長 ③ホームページの表彰

④吉川さおり必勝に向けあらゆる活動のなかで周知徹底に努める ⑤平和活動への取り組みとして戦後80年の節目を意識した取り組みや、沖縄の基地問題「南西諸島の自衛隊、ミサイル基地問題」⑥ジェンダー等、2024年度も多くの取り組みの提案がありました。

引き続き小宮副会長より第50回衆議院選挙について経過・結果報告などがあり、今後の退職者の会の対応等の提案がありました。

提案のあとに金城会長より来年の戦後80年の取り組みに対し、次世代に遺すための証言者募集については、支部協分会と連携を取り人選を進めている。また、沖縄の基地があるゆえの事件・事故や「南シフト」「自衛隊基地強化」など等平和なくして活動は出来ない、これからの機会ある



ごとに平和について述べていきたいと意見を述べられていました。

翌日はNTT労組情報部の梅山担当部長による「選挙運動に関わる情宣活動」についての講演があり、機関紙に掲載する場合は注意点など学びました。

事務局長 喜久里艶子

吉川さおり

2024.12月



総務省の情報通信審議会・電気通信事業政策部会・通信政策特別委員会は11月27日に「市場環境の変化に対応した通信政策の在り方」について最終報告書(案)をまとめました。これを受け、12月5日から2025年1月8日まで行政手続法に基づく意見公募手続(パブリックコメント)による意見募集が行われた後、この結果を踏まえ、最終答申(案)を取りまとめる予定となっ

ています。2024年4月16日、私も総務委員会で改正NTT法(4月17日参議院本会議で成立)について質疑に臨み、研究開発に関する責務の廃止やユニバーサルサービスの現状と課題、2025年の通常国会への法案提出の在り方や検討内容について確認しました。

通信政策特別委員会の最終報告書(案)はユニバーサルサービス、公正競争、国際競争力、経済安全保障——の確保の在り方とNTTに関する担保措置等の在り方—について取りまとめられました。政府の株式保有義務は維持することが適当であると、また、NTT法の在り方については必要な規律を適切かつ確実に担保できる形を検討することが適当である等とされています。

NTTに課せられているユニバーサルサービスの確保の在り方について、メタル回線設備が2035年頃に維持限界を迎えること、「あまねく提供責務」から「最終保障提供責務」へ移行最終保障提供責務の在り方、モバイル網のさらなる活用、NTT東西の業務範囲等について対応することになると思います。また公正競争確保や国際競争力強化に向けた連携の在り方など課題にも向き合ってまいります。

先輩方が築いてこられた情報通信の世界で働いた後輩の一人として、NTTグループや情報通信産業で働く仲間の皆様が安心して働くことのできる職場環境の整備、そして国民・利用者の利便性向上に向け、引き続き総務委員会など国会対応に臨んでまいります。

「ゆめ・みらい基金」 子どもたちの夢と未来の手助けを

12月11日、昨年に引き続き社会貢献活動の一環として「ゆめ・みらい基金」への支援カンパの贈呈式が労金本店にて行われました。



欲しいとの挨拶のあと、早速ご自身も「ゆめ・みらい基金」の申し込みをしました。

また、沖縄県労協の仲宗根哲理事長より沖縄県では、「子どもの貧困」が深刻な社会問題となつていきます、その背景には沖縄の一人当たりの所得が全国最下位で、親の貧困

子どもの貧困という貧困の連鎖が大きな課題です。是非、「ゆめ・みらい基金」で子どもたちの夢と未来の手助けに活用し伝えていきたいとの挨拶のあとに、富元副会長より寄付金5万円の贈呈を行いました。

会員の皆さま「子どもたちの明るい未来」を築くため、皆さんのご支援を心よりお願い致します。一口50円(月額)の寄付でお申し込みを頂くことができます。お問合せは支部協議会へ。

事務局長 喜久里艶子

*幹事紹介



石垣 浩

第26回定期総会において、幹事として承認されました。退職者の会新入生の石垣浩です。

昨年の9月に左足首を骨折して3カ月の治療を要しました。この年までケガもなく過ごしてきましたが、今回、足の骨折で医療・傷害(Myセーフティ)に加入していたおかげで保障を受けることが出来ました。

「備えあれば憂いなし」いざという時に備え、常日頃の準備が大切です。

祝 カジマヤー いつまでもお元気で

先日カジマヤーを迎えられた北部地区協会の平良正夫会員のご自宅へ神山会長、伊波副会長と共に伺い祝金と表彰状を贈呈しました。

祝 カジマヤー

平良正夫様

昭和三年十一月十七日

幾春になてん
翠さしそえて
学え行く先や
千歳までん



松田前副会長 社会貢献活動表彰



去った11月21日、NTT沖縄支店主催の退職者交流会に前副会長 松田竹徳様の表彰を祝いたく参加をしました。懐かしい方々が多いなか女性の少ないのには残念でしたが、壇上の松田さんにはこやかでとても輝いていました。社会貢献・芸能活動等での表彰との事で今後のご活躍が楽しみです。表彰の参加者に一人一人に挨拶している松田さんの姿には頭が下がる思いでした。在職の時、一緒に仕事をした後輩たちがカメラを手に広報担当、エイサー部隊の一員としてエイサーを披露している姿には先輩としてうれしい限りでした。きっと練習の賜物でしょう。

退職者の会を代表して金城章会長からは現役より退職者が上回っている現状や退職者の会として今後も「現・退一致」で取り組んでいくことへの力強さも頼もしい挨拶がありました。

松田さんの表彰の喜びを共有でき参加できたことはとても良かったです。

松田さんおめでとうございます。これからもなお一層のご活躍をお祈りいたします。

また、交流会の準備や進行して下さった皆さんお疲れ様でした。 幹事 与儀寿美子

とを祈念しております。
事務局長 喜久里艶子

*平良正夫さんコメント

かじまヤーを迎えました。私は、今年かじまヤーのトウシビーを迎える事になりました。私がかじまヤーのトウシビーを迎えるなんて、想いを新たにしております。

昨年来まで車も運転され買物もご自身でなさっていたが腰と足を痛め、今は車イスの生活を余儀なくされているとのことでした。趣味のAI将棋やアマチュア無線などと日々楽しく過ごされているようです。近くにいる娘さん曰く好き嫌いもなく食欲もありとても元気との事です。これから益々お元気で過ごされることを祈念しております。

沖縄市長選挙に「仲村未央」県議の擁立決定

桑江朝千夫市長の死去により、2025年1月26日投開票の沖縄市長選挙に沖縄県議会議員の「仲村未央」氏(立憲民主党県連代表)の擁立が決定しました。受諾した仲村氏は「生まれ育った沖縄市で市議会議員、県議会議員として多くの市民に支えられてきました。市民みんなの声が届く、優しさ広がる街づくりを目指す」と述べました。



<仲村未央プロフィール>

仲村未央。1972年5月沖縄市生まれ/沖縄市立山内小学校、大口明光学園中学校・高等学校、琉球大学法文学部社会学科マスコミ学専攻卒業/琉球新報社記者/政治部県政担当/中部支社では嘉手納基地爆音被害や返還跡地のまちづくりを追求/「復帰っ子」の一人として沖縄の役に立ちたいとの思いから政界への転身を決意/2002年~沖縄市議会議員2期/2008年~沖縄県議会議員5期
*沖縄市社会福祉協議会主宰『島マス記念塾』第6期卒業
*平和・立憲・人権をつなぐ全国自治体議員会議共同代表
*立憲民主党沖縄県連代表
【趣味】うたと筋トレとコーヒー

嘉手納町議会議員選挙

来る1月19日に嘉手納町議会議員選挙が行われます。

全駐労出身の「ちばなケンコウ」は子育て、介護にやさしい豊かな町づくりのために取り組んでいます。ご支援をお願いします。



沖縄連定期総会に参加して

12月3日沖縄県退職者連合の定期総会が浦添市社会福祉センターで支部協幹事及び、宮古・八重山・北部の三地区協会長が参加し開催されました。

世界の情勢は、ロシアのウクライナ侵略、イスラエルのパレスチナ空爆で多くの幼い子供や民間人が犠牲になっている。国内では、衆議院選挙で自公政権が惨敗し過半数割れとなり政治の流れが大きく変わった。県内では辺野古新基地建設強行、自衛隊の南西シフトへの怒り、物価高への不満など難題が山積する中で開催され議論



議長は降壇挨拶で「選挙は候補者を早く決め選挙の総括をしっかりと行い次への対策をしっかりと行おう」と、来年は自治体や参議院選挙に勝利し政治の流れを変え安心して暮らせる社会を築こうと締めた!

事務局長 前大純

「会員の訃報について」

謹んでご報告し、故人のご冥福をお祈りいたします



與那覇 朝昭	70歳
中城村	2024年11月13日
比嘉 憲雄	69歳
沖繩市	2024年11月28日
新城 勝次	86歳
那覇市	2024年11月25日
嘉数 幸清	89歳
浦添市	2024年10月20日
南風原 正	76歳
那覇市	2024年4月26日
屋良 宣正	74歳
恩納村	2024年12月14日